

近視の有病率：平戸度島スタディ

川島素子 1) 2)、溝口尚則 1) 3)、福岡詩麻 1) 4)、高静花 1) 5)、白川理香 1) 6)、  
鈴木崇 1) 7)、森重直行 1) 8)、有田玲子 1) 9)

1) LIME 研究会 2)慶應大 3)溝口眼科 4) 大宮はまだ眼科

5)大阪大 6)東京大 7)東邦大大森 8) 大島眼科病院 9) 伊藤医院

【目的】平戸度島で行われた島民眼検診において、近視有病率を明らかにすること。

【対象と方法】6歳以上の島民全員を対象とし、検診受診者の屈折値・眼軸長などを測定した。検診受診者のうち眼手術歴のある者を除いた318例（男性120例、女性198例）を解析対象とした。測定結果より等価球面度数を求め、近視有病率（等価球面度数 $\leq$ -0.5D）を算出した。また、年齢の影響を除くために40歳～64歳の層を抽出し、近視に影響を与える背景項目の検討として、多変量一般化線形混合効果モデルによるオッズ比（OR）推定を行った。

【結果】全体の近視有病率は55.0%（175眼/318眼）であった。年代別の有病率はそれぞれ、18歳未満：80.4%、18歳～39歳：97.1%、40～54歳：73.4%、55～64歳：39.7%、65歳以上：29.7%であった。平均等価球面度数は $-0.96 \pm 2.56D$ 、平均眼軸長は $23.72 \pm 1.21$  mmであった。また、強度近視有病率（等価球面度数 $\leq$ -6.0D）は4.1%であり、眼軸長が26 mm以上の割合は6.3%であった。近視に影響を与える背景項目の検討結果は、年齢（/10歳）（OR=0.80, p=0.0006）、外にいる時間（OR=0.96, p=0.02）、角結膜上皮障害スコア（OR=1.06, p=0.04）であった。

【結論】平戸度島島民の近視有病率は高く、若年者では顕著である。

利益相反 有田玲子 P, C（興和、日本ルミナス） FIV（参天）

溝口尚則、川島素子、森重直行 なし

高 静花 FIV（SEED）

福岡詩麻 FIV（参天）

白川理香 F III（ニコンヘルスケアジャパン）

鈴木崇 ?